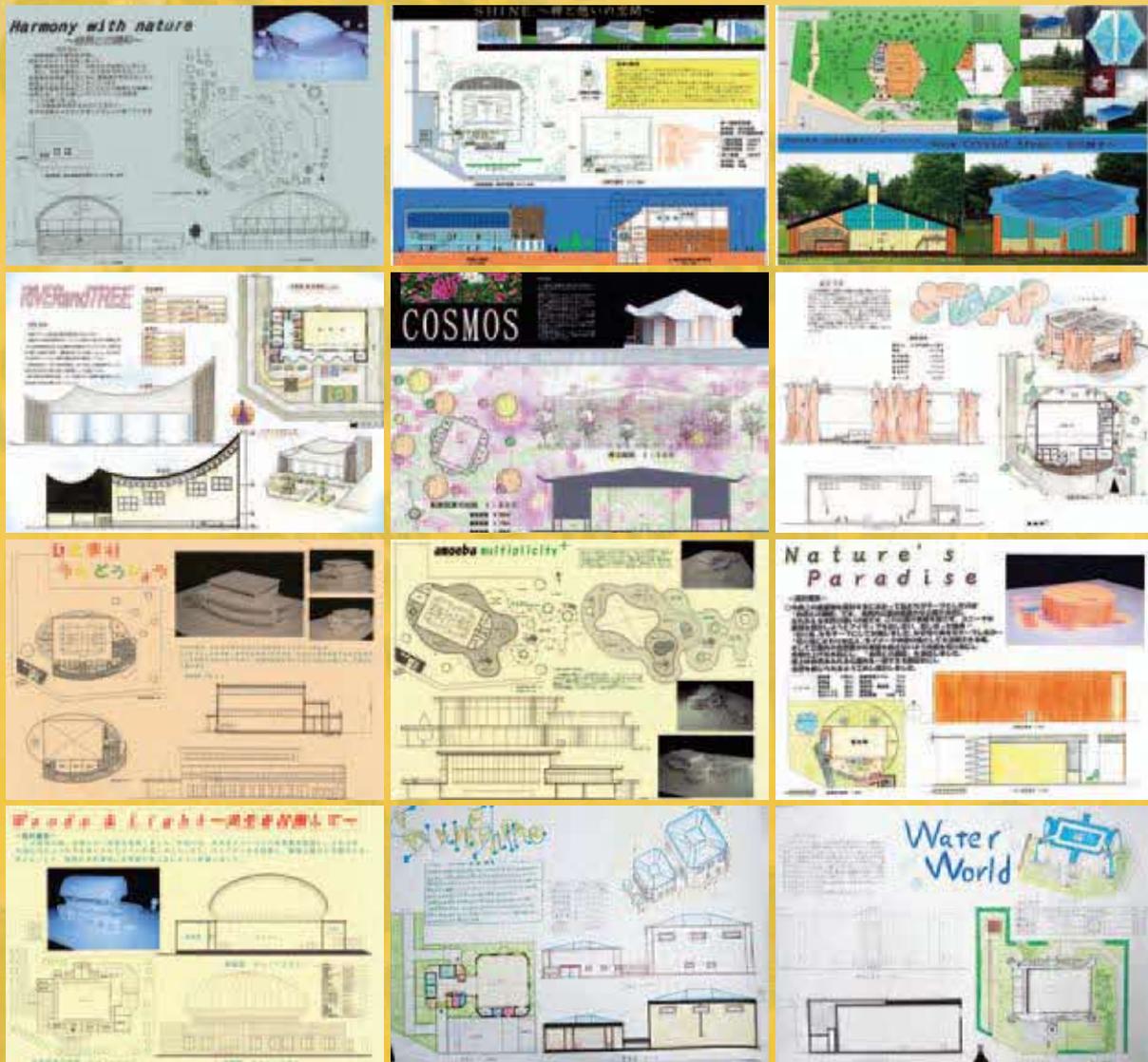


平成24年度

高校生建築デザインコンクール

課題／「公園内に建つ小体育館」



ARCHITECTURE DESIGN CONTEST 2012

はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な係わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上並びに気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

北海道では、平成8年度から建物を所管する部局の協力を得ながら、「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の工業高校生（建築系）を対象に夢のあるユニークなデザインを募集し、その提案を実施設計に取り入れ、道民に愛され親しまれる施設となるよう建設を進めています。

さらに、平成12年度からは、コンクールの内容を一層充実するため、(社)日本建築家協会北海道支部、(社)北海道建築士事務所協会、(社)北海道建築士会との共催事業としています。

将来建築を志す高校生の皆さんがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

今回募集した課題につきましては、札幌市の真駒内公園内に整備を予定している小体育館のデザインの提案であり、6校89人から56作品の応募がありました。

公園を訪れる多様な施設利用者が使用する小体育館について、採光・積雪などの自然環境や近隣住宅地等の周辺環境、建築物及び外構のユニバーサルデザインに配慮することなどを求め、高校生らしい創造性にあふれたレベルの高い作品が多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

北海道においては、この度選定されました最優秀作品の設計主旨に配慮し、道民に親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいります。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただきました先生方をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、ご応募いただいた高校生の皆さんには、今後も専門の勉強に励まれ、将来社会でご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成24年12月

北海道建設部長 **武田準一郎**

平成24年度

高校生建築デザインコンクールの概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内工業高等学校(建築系学科)に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、北海道において、実施設計に取入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

- 1 課 題 「公園内に建つ小体育館」
真駒内公園内に訪れる多様な施設利用者使用する小体育館を設計して下さい。
- 2 応募資格 道内工業高等学校(建築系学科)に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
 - ① 作品タイトル
 - ② 設計主旨
 - ③ 配置図・平面図 1/400～1/500
 - ④ 断面図 1/100～1/200
 - ⑤ 立面図 1/100～1/200
 - ⑥ スケッチ
 - ⑦ 面積表
- 4 応募作品 89名から56作品の応募
- 5 入選作品 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作4作品 ・ 特別賞2作
- 6 経 過

募集要項配付	平成24年5月25日
作品受付	平成24年8月20日～平成24年8月31日
選定委員会	平成24年9月19日
作品展	平成25年1月10日～平成25年1月11日
- 7 選定委員

遠藤謙一良	(社)日本建築家協会北海道支部副支部長
仙座 猛	(社)北海道建築士事務所協会業務・技術委員会担当副会長
滝田 祐人	(社)北海道建築士会まちづくり委員会委員
前川 洋	北海道教育庁学校教育局高校教育課長
飯塚 賢司	北海道建設部まちづくり局都市環境課公園下水道担当課長
須藤 公之	北海道建設部建築局建築整備課長



審査講評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の工業高等学校（建築系学科）に在籍する建築を志す生徒の皆様から夢のあるアイデアを募集し、最優秀作品の趣旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めようとするものです。今年度も、多くの関係者に支えられて、高校生建築デザインコンクールを盛会のうちに進めることができました。選定委員会を代表して、関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

今回の課題は、札幌市内の真駒内公園内に整備する延べ床面積1,800㎡程度の「小体育館」で、公園内のメイン施設の1つであり健康増進活動等に利用され地域に親しまれている施設です。

応募された皆様は、公園の歴史などを調べ設計のコンセプトに取り込み、また、人々が集いitくなるようなプランとするためアイデアを煮詰めて設計されたことと思います。

応募作品は、高校生らしい若々しい発想によるデザインとそれぞれ工夫された設計の提案が見られました。また、多くの作品からこの小体育館をさまざまな人たちに利用して欲しいという思いが伝わってきて大変嬉しく思いました。

審査にあたっては

- ・高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- ・設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- ・立地条件を活かしているか。
- ・ユニバーサルデザインや環境などに配慮されたデザインであるか。

といった観点から、厳正に審査を重ねた結果、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性に溢れたデザイン提案が数多くありました。

今回、応募いただきました皆様のご活躍を期待いたします。

平成24年度高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 須藤 公之

平成24年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞（1作品）

新谷 郁人	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
東 純也	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
小林 拓夢	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

優秀作品賞（3作品）

秋山 愛斗	（北海道小樽工業高等学校 3年）
山崎 涼	（北海道小樽工業高等学校 3年）
久米田和義	（北海道小樽工業高等学校 3年）

本間 悠太	（北海道札幌工業高等学校 2年）
植木 亮輔	（北海道札幌工業高等学校 2年）
榮田 民人	（北海道札幌工業高等学校 2年）

谷口 遥香	（北海道函館工業高等学校 3年）
-------	------------------

佳作（4作品）

石垣 祐貴	（北海道札幌工業高等学校 3年）
藤原 翔平	（北海道札幌工業高等学校 3年）
大柳 朋裕	（北海道札幌工業高等学校 3年）
木津谷修平	（北海道函館工業高等学校 3年）

久保菜々実	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
久保木小春	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
山崎千沙都	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
渡辺 未紀	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

特別賞（2作品）

田中 響	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
種田 俊己	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
山口 朗人	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
坊坂 直紀	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
灰野 智哉	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
吉田 翔弥	（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

入賞作品

最優秀
作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

新谷 郁人 (3年)

東 純也 (3年)

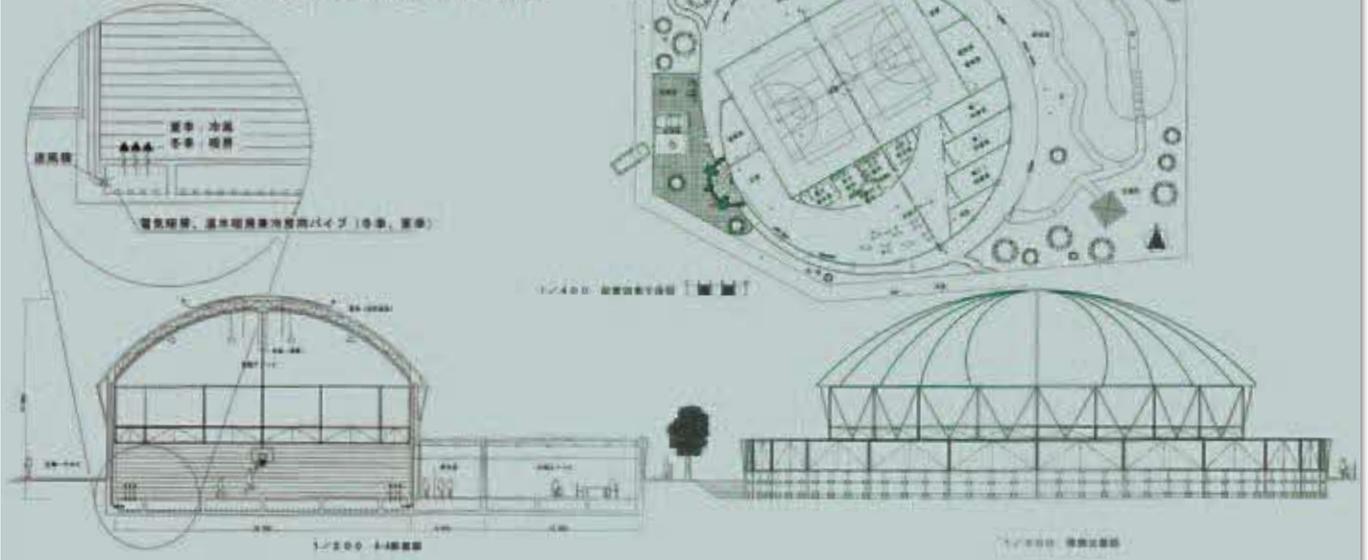
小林 拓夢 (3年)

Harmony with nature

～自然との調和～

～設計主旨～

自然環境との調和を目指し、自然エネルギーを活用しました。開口部を広く設け、光あふれる空間にしました。また、半地下構造とし、地下熱を利用することで、空調負荷を低減できると共に、最高高さを抑えることで自然とけごむように工夫しています。体育館の屋根を球体にしたことにより積雪にも配慮し自然にも優しいバリアフリーの体育館として計画しました。この施設を利用する人だけではなく、色々な年齢の人たちに利用してほしいと願っています。



Harmony with nature～自然との調和～



設計趣旨

自然環境との調和を目指し自然エネルギーを活用しました。開口部を広く設け、光あふれる空間にしました。また、半地下構造とし、地下熱を利用することで、空調負荷を低減できると共に、最高高さを抑えることで、自然とけごむように工夫しています。体育館の屋根を球体にしたことにより積雪にも配慮し自然にも優しいバリアフリーの体育館として計画しました。この施設を利用する人だけではなく、色々な年齢の人たちに利用してほしいと願っています。



審査講評

体育館としての空間や表現が適切でゾーニングが明快である。また、近接する真駒内競技場とも調和のとれた外観としながら、半地下にすることで地上高を抑え周辺住宅への圧迫感にも配慮しており、内・外部共にバランスの取れた作品である。デザイン、コンセプトとも秀逸な作品であり、特に高く評価されました。

優秀
作品賞

北海道小樽工業高等学校

秋山 愛斗 (3年)
山崎 涼 (3年)
久米田和義 (3年)



SHINE ~^{ひかり}輝と憩いの空間~

設計趣旨

設計コンセプトは美しい自然と人工物との調和としました。外観は白を基調としたこて波形の仕上げにし、柱と梁を露出させシンプルで個性的なモダニズム建築風に仕上げました。内観は吹き抜けによって通気性が良く開放的な憩いの空間となっています。設備面では管理棟の屋根にソーラーパネルを設置し、札幌市に適した発電量の多い35度の勾配にしました。また、ガラスカーテンウォールからは暖かな陽が差し込み、研修室・体育館もハイサイドライトによって適度に明るくなるよう設計しました。使用者の動線にも気を配り、幅広いニーズにも応えられ多様性のある、使いやすい間取りとなっています。

審査講評

コンパクトで平面計画も良く練られており、屋根にソーラーパネルを効果的に設置するなど表現力、デザイン力が豊かな優れた作品として高く評価されました。

優秀
作品賞

北海道札幌工業高等学校

本間 悠太 (2年)
植木 亮輔 (2年)
榮田 民人 (2年)



Snow Crystal Arena ~北の輝き~

設計趣旨

以前は札幌オリンピックの開催地として世界のトップアスリート達がこの真駒内公園で競い合いました。そこは今や市民の慣れ親しんだ憩いの公園として生まれ変わり、私たちの生活に潤いを与えてくれる場所としてあり続けています。そんなところにふさわしい建物として、雪の結晶をテーマに据えてデザインしました。木々の生い茂る公園の中に佇む青色を基調とした涼しげなカラーは涼しげな気持ちにさせてくれ、冬には一面を覆う雪のシンボルとして北海道札幌の冬を象徴する建物となっています。内・外観は木を基調としており、温かみある作りとなっています。

審査講評

雪の結晶をモチーフに平面やソーラーパネルを六角形でまとめているデザインは斬新であり、コンセプトや表現力が高く評価されました。

優 秀
作品賞

北海道函館工業高等学校

谷口 遥香 (3年)



RIVER and TREE

設計趣旨 外観のデザインは真駒内公園の特徴を盛り込んでいます。公園の中心を横切る真駒内川をイメージした波状の大窓は今まで閉鎖的に思えた公共体育館の存在を一変し開放的な雰囲気をもたらしています。西部に流れる豊平川は屋根で表現し、躍動感を感じさせる形態としました。更に木材を立ち並べることにより公園内の豊富な樹木の表現をしています。内部は休憩スペースを大窓面に配置し、外から見た人に親近感を与え、また波状の形が仕切りの役目を果たし機能面について優れています。現代の職人技の表出に期待し、そして表現されたら真駒内公園は更に人から愛され親しまれる公園となることでしょうか。

審査講評 公園内の川や樹木、周辺の川など身近な自然が開口部、伸び上がる屋根と豊かな感性で力強く表現されており、若々しさを感じる個性的なデザインが高く評価されました。

佳 作

北海道札幌工業高等学校

石垣 祐貴 (3年)

藤原 翔平 (3年)

大柳 朋裕 (3年)



COSMOS

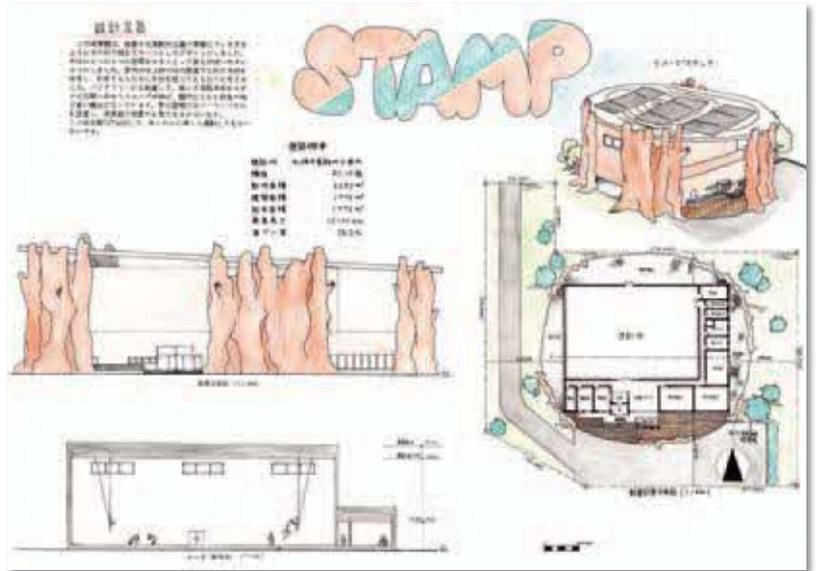
設計趣旨 この建物は真駒内公園内にある南区の区の花である「コスモス」をイメージしました。建物の平面はコスモスの花卉が8枚であることから8角形としています。また、建物外の柱は白く塗り、枝分かれの様な形にすることにより区の木である白樺の林を連想させます。管内はバリアフリーにすることで、車いす利用者や高齢者でも安心して施設を利用することができます。スポーツはもちろん、サークルや研修の会場として使用できるので様々な人が集まります。この建物を訪れた人々がスポーツや集会を通して触れ合う、地域の交流の場となって欲しいです。

審査講評 コスモスをモチーフに複雑な平面形状をうまくまとめ上げており、屋根の形状など外観の姿が表現豊かで美しく存在感がある芸術性の高い作品である。

佳作

北海道函館工業高等学校

木津谷修平 (3年)



STAMP

設計趣旨

この体育館は緑豊かな真駒内公園の景観にマッチするように木の切り株をモチーフとしたデザインにしました。中はひとつひとつの空間を大きく取って誰もが使いやすいようにしました。室内の仕上げ材には北海道でとれた木材を使用し、利用する人たちに自然を感じてもらおうと考えました。バリアフリーにも配慮して、車いす用駐車場からすぐに玄関へ向かうスロープが伸び、館内にはいと段差の殆ど無い構造になっています。更に屋根にはソーラーパネルを設置し、体育館で消費する電力をまかないます。この体育館「STAMP」で、多くの人に楽しく運動してもらいたいです。

審査講評

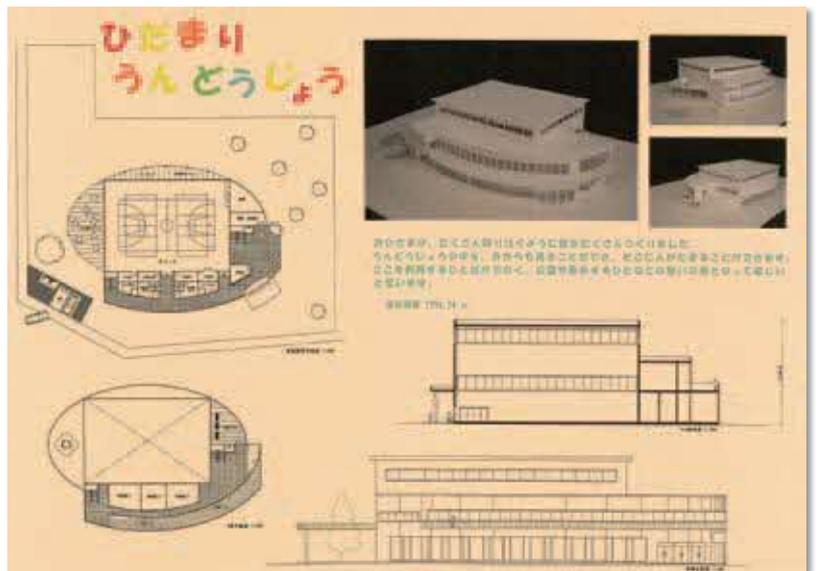
切り株をモチーフとした外観はユニークでありながら、公園と調和のとれた落ち着いたデザインとなっており、創造性の高い作品である

佳作

北海道苫小牧工業高等学校

久保菜々実 (3年)

久保木小春 (3年)



ひだまりうんどうじょう

設計趣旨

おひさまが、たくさん降り注ぐように窓をたくさんつくりました。うんどうじょうの中を、外からも見ることができ、そこに人がたまることができます。ここを利用するひとだけでなく、公園や散歩するひとなどの憩いの場となって欲しいと思います。

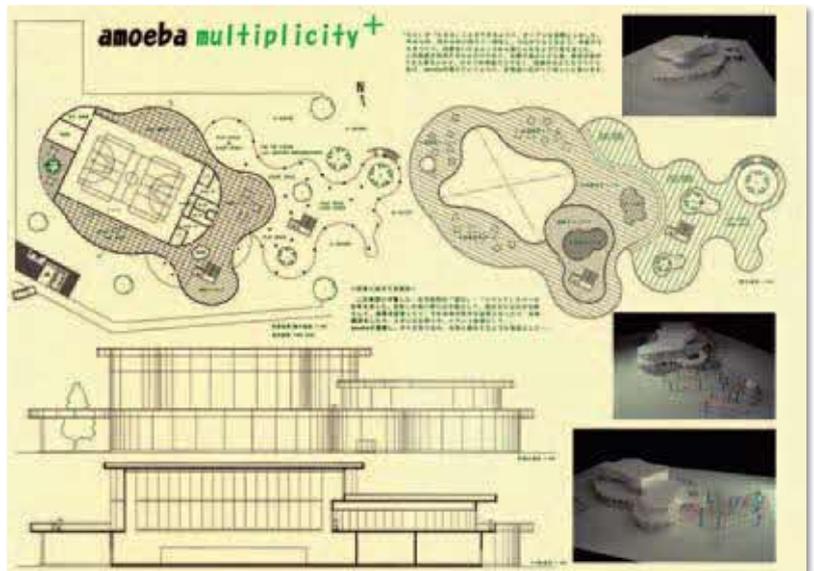
審査講評

平面計画がコンパクトで機能的であり、曲面を用いるなど快適な環境の内部空間を創り出した作品である。

佳作

北海道苫小牧工業高等学校

山崎千沙都 (3年)
渡辺 未紀 (3年)



amoeba multiplicity+

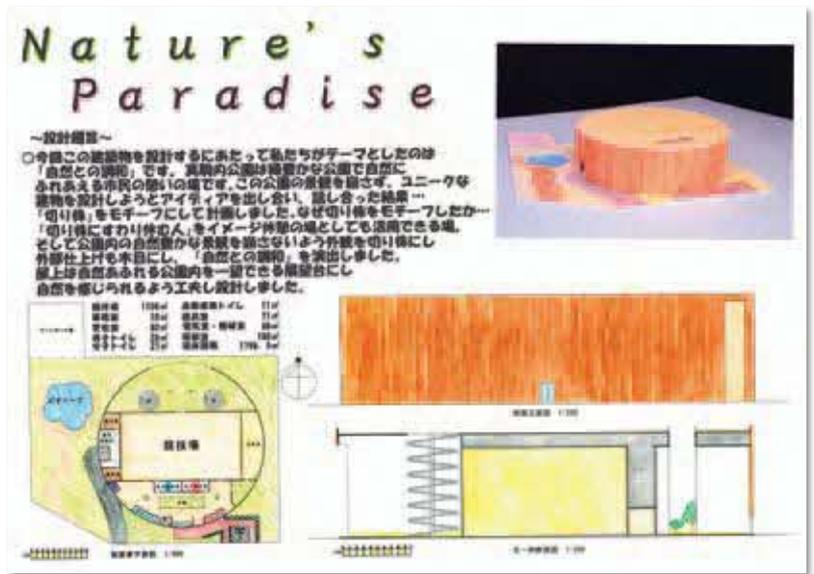
設計趣旨 「ひと」が「たまる」ことができるように、オープンな空間としました。外から内、内から外に向けて一体化し、つながりもてるよう、外部テラスをつくり、内部をいたるところから感じられるように考えました。この施設を利用するひとでなく、公園で遊ぶ子ども達、散歩の途中で立ち寄り人など、ひとつの用途だけでなく、地域のひとたちでつくりあげamoebaが増えていくように、他用途に広がってほしいと思います。

審査講評 敷地全体が「ひと」が「たまる」というコンセプトどおりの空間となっており、親近感、開放感とともに豊かな感性を感じる作品である。

特別賞

北海道苫小牧工業高等学校

田中 響 (3年)
種田 俊己 (3年)
山口 朗人 (3年)



Nature's paradise

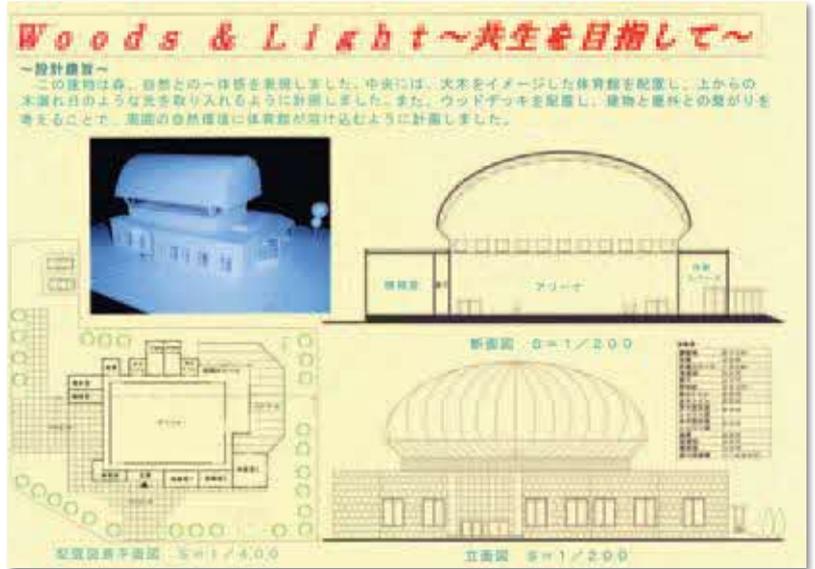
設計趣旨 今回この建築物を設計するにあたって私たちがテーマとしたのは「自然との調和」です。真駒内公園は緑豊かな公園で自然にふれあえる市民の憩いの場です。この公園の景観を崩さず、ユニークな建物を設計しようとアイデアを出し合い、話し合った結果…「切り株」をモチーフにして計画しました。なぜ切り株をモチーフにしたか…「切り株にすわり休む人」をイメージ休憩の場としても活用出来る場。そして公園内の自然豊かな景観を崩さないよう外観を切り株にし外部仕上げも木目にし、「自然との調和」を演出しました。屋上は自然あふれる公園内を一望できる展望台にし自然を感じられるよう工夫し設計しました。

審査講評 テーマとした「自然との調和」を明快かつ大胆な発想で力強く表現しており、高校生らしい独創的な作品である。

特別賞

北海道苫小牧工業高等学校

- 坊坂 直紀 (3年)
- 灰野 智哉 (3年)
- 吉田 翔弥 (3年)



Woods & Light ~共生を目指して~

設計趣旨 この建物は森、自然との一体感を表現しました。中央には、大木をイメージした体育館を配置し、上からの木漏れ日のような光を取り入れるように計画しました。また、ウッドデッキを配置し、建物と屋外との繋がりを考えることで、周囲の自然環境に体育館が溶け込むように計画しました。

審査講評 外部空間との一体感を意識した東に広がるテラスは気持ちが良い。また、空にふくらむドームがユニークで個性的な作品である。

平成24年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

北海道札幌工業高等学校

- 石垣 祐貴 [3年]
- 藤原 翔平 [3年]
- 大柳 朋裕 [3年]
- 3名グループ
- 本間 悠太 [2年]
- 植木 亮輔 [2年]
- 柴田 民人 [2年]
- 3名グループ

北海道函館工業高等学校

- 青木友梨香 [3年]
- 伊藤 綸沙 [3年]
- 岩城 正寛 [3年]
- 遠藤 暉知 [3年]
- 木津谷修平 [3年]
- 木津谷千香子 [3年]
- 木村 愛里 [3年]
- 久保 祐二 [3年]
- 小堀 竜輔 [3年]
- 斉藤 理紗 [3年]
- 佐々木華音 [3年]
- 嶋田さなみ [3年]
- 杉本 沙弥 [3年]
- 高田 知美 [3年]
- 谷岡 玲奈 [3年]
- 谷口 遥香 [3年]
- 寺尾 実耶 [3年]
- 西里 郁香 [3年]
- 庭田 涼 [3年]
- 水上 幸大 [3年]
- 棟方 航助 [3年]
- 村上 真優 [3年]
- 山田 有紗 [3年]
- 吉崎 美紅 [3年]
- 小林 優希 [2年]
- 小松 美波 [2年]
- 斉藤わかめ [2年]
- 菅原ゆかり [2年]
- 竹本 茜理 [2年]
- 能登 悠花 [2年]
- 安田つぐみ [2年]

北海道小樽工業高等学校

- 秋山 愛斗 [3年]
- 山崎 涼 [3年]
- 久米田和義 [3年]
- 3名グループ
- 星野 舞 [2年]
- 鈴木はつみ [2年]
- 2名グループ
- 小熊 匠 [2年]
- 吉田 希 [2年]
- 2名グループ
- 野口 明代 [3年]
- 加藤 千尋 [2年]
- 2名グループ
- 和田 大輝 [2年]

北海道旭川工業高等学校

- 吉澤 絃奈 [3年]

北海道名寄産業高等学校

- 川端 孝幸 [3年]
- 山崎 匠 [3年]
- 羽生 晃也 [3年]

北海道苫小牧工業高等学校

- 久保菜々実 [3年]
- 久保木小春 [3年]
- 2名グループ
- 浅井 耀一 [3年]
- 北川 龍未 [3年]
- 山本 真治 [3年]
- 3名グループ
- 田中 響 [3年]
- 種田 俊己 [3年]
- 山口 朗人 [3年]
- 3名グループ
- 伊藤 慶祐 [3年]
- 下田 浩之 [3年]
- 及川 大輝 [3年]
- 3名グループ
- 新谷 郁人 [3年]
- 東 純也 [3年]
- 小林 拓夢 [3年]
- 3名グループ
- 佐々木瑠太 [3年]
- 近藤 史耶 [3年]
- 2名グループ
- 船水 美咲 [3年]
- 鎌田 実里 [3年]
- 鈴木 葉月 [3年]
- 3名グループ
- 油井 駿介 [3年]
- 生井 亮 [3年]
- 2名グループ
- 中野 将吾 [3年]
- 牧野 健介 [3年]
- 柳谷 侑吾 [3年]
- 3名グループ
- 山崎千沙都 [3年]
- 渡辺 未紀 [3年]
- 2名グループ
- 川田 聖弥 [3年]
- 浪岡 大輝 [3年]
- 茨木 俊哉 [3年]
- 3名グループ
- 青塚 昇平 [3年]
- 今井 竣 [3年]
- 岩坂 武 [3年]
- 3名グループ

- 漁浜 健大 [3年]
- 太田 万博 [3年]
- 大谷 聖牙 [3年]
- 3名グループ
- 坊坂 直紀 [3年]
- 灰野 智哉 [3年]
- 吉田 翔弥 [3年]
- 3名グループ

高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数
札幌工業高等学校	2
函館工業高等学校	31
小樽工業高等学校	5
旭川工業高等学校	1
名寄産業高等学校	3
苫小牧工業高等学校	14
計	56

応募56作品、参加人数89名



ARCHITECTURE DESIGN CONTEST 2012



主催

北海道 (社) 日本建築家協会北海道支部 (社) 北海道建築士事務所協会 (社) 北海道建築士会

北海道建設部建築局ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

平成24年12月